

# 凝固処理中のコンロのかけ忘れによる火災事例

## 火災概要

一般住宅の台所のガスコンロから出火し室内に延焼拡大した建物火災です。付近で工事をしていた男性が火災に気づき119番通報、現場到着した消防小隊の放水で鎮火したものです。なお、発見・通報が早かったことから消防隊の到着が早く、消火活動が有効に行われた為、延焼拡大を免れました。

## 原因概要

本件火災の原因は、家人が凝固処理の為、コンロ上で天ぷら油を温めていたところ、コンロの火（弱火）を点けていることを忘れて外出してしまい、外出後にてんぷら油が発火若しくは引火して室内に燃え広がったものです。



コンロから上方にかけて燃え広がり、天井付近の吊戸棚が焼損している。



ガラストップガスコンロの天板（右側）が割れている。



鍋の状況 直径 26 cm  
深さ 8 cm 油量 400cc

## 類似火災の防止対策

廃油凝固剤を使用する場合は、天ぷら油がまだ熱いうち（80℃以上）に使用しないと油に混ざりにくいいため、時間がたって冷えてしまった天ぷら油に使用するには、再加熱する必要があります。ところが、本件のように再加熱していることを忘れて出火に至るケースがよくあります。

**凝固剤を使用するにあたり、下記のことについて十分注意して下さい。**

- 1 凝固剤は、揚げ物をした後のまだ油が熱いうちに入れてください。その際は、火が消えていることを必ず確認してください。凝固剤が油に溶けるまでよくかき混ぜ、火が消えていることを再確認し、1時間以上放置してください。（室温や油の温度、量等によって固まる時間は異なります）
- 2 やむをえず凝固剤を使用するために油を再加熱するときは、その場を離れず、かき混ぜながらおこない、凝固剤が十分に溶けたら必ず火を消したことを確認し、固まるまで放置してください。

## その他（平成 19 年度版 消防白書より）

平成 18 年中のコンロによる火災は 5,990 件であり、前年に比べ 36 件（0.6%）減少しています。コンロによる火災の主な経過別出火件数をみると、69.4% に当たる 4,160 件が**消し忘れ**によるものです。また、コンロ火災による損害額は、71 億 5,241 万円です。

・・・**火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。**・・・